



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 中央魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 8030 URL <http://www.marunaka-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 伊藤 裕康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理部部長 (氏名) 市山 勝一

TEL 03-6633-3000

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	40,313	14.6	197	28.5	302	18.4	235	31.6
2020年3月期第1四半期	47,204	0.9	276	69.0	370	103.3	178	121.8

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 473百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 435百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	58.86	
2020年3月期第1四半期	44.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	65,404	25,002	32.6	5,336.24
2020年3月期	66,320	24,848	31.9	5,293.99

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 21,317百万円 2020年3月期 21,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2021年3月期の配当予想については、現時点で業績予想の算定が困難であるため未定とし、可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により経済動向等を踏まえた合理的な算定が现阶段では困難であることから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	4,315,300 株	2020年3月期	4,315,300 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	320,456 株	2020年3月期	320,456 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	3,994,844 株	2020年3月期1Q	3,994,865 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日)においては新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、わが国政府は感染拡大防止策として4月7日に緊急事態宣言を発出し、諸施設の休業、在宅勤務及び外出自粛を強く国民に要請しました。そのため、国内経済や社会活動が制限され、新型コロナウイルス感染症の拡大は社会全体に大きな影響を与えました。緊急事態宣言は、5月25日には解除されましたが、当社グループの中核事業である水産物卸売事業においては、業務筋向けを中心に極めて厳しい販売環境下に置かれ、特に高単価水産物の需要が大きく後退しました。当第1四半期連結累計期間の後半に掛けては、非常事態宣言解除後の政府の段階的経済再開方針もあって、販売環境は若干好転しましたが、当社グループの売上高は前年同期比大幅な減少を余儀なくされました。

その結果、当社グループの売上高は40,313百万円(前年同期比14.6%減)となり、売上総利益率は改善したものの、売上高減少による売上総利益額の減少が影響し、営業利益は197百万円(前年同期比28.5%減)、経常利益302百万円(前年同期比18.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益を計上した結果、235百万円(前年同期比31.6%増)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

(水産物卸売事業)

当第1四半期連結累計期間においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高は38,390百万円(前年同期比15.3%減)、セグメント損失は73百万円(前年同期はセグメント利益80百万円)となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間においては川島流通センターが好調であった結果、売上高は1,683百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント利益は134百万円(前年同期比70.1%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間においては、貸蔵部門が増加し、売上高は136百万円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益は123百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

(荷役事業)

当第1四半期連結累計期間においては顧客への配送業務が増加したことにより、売上高は103百万円(前年同期比15.9%増)、セグメント利益は13百万円(前年同期比155.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金の増加987百万円、受取手形及び売掛金の減少425百万円、預け金の減少507百万円、有形固定資産の減少526百万円等により、916百万円減の65,404百万円となりました。

(負債)

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金の減少291百万円、短期借入金の減少340百万円、長期借入金の減少430百万円等により、1,069百万円減の40,402百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上235百万円、剰余金の配当による減少239百万円、その他有価証券評価差額金の増加169百万円等により、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し25,002百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

政府は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として4月7日に緊急事態宣言を発出し、5月25日には解除されましたが、再び拡大する兆候もみられております。それにより、水産物の集荷販売状況の見通しが立てづらいこと、業務筋を中心とした販売環境が依然として厳しいことから、2021年3月期の連結業績予想につきましては合理的な算定が現段階では困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,149	8,136
受取手形及び売掛金	11,088	10,663
商品及び製品	5,520	5,474
原材料及び貯蔵品	44	45
預け金	507	-
その他	1,153	640
貸倒引当金	△439	△388
流動資産合計	25,023	24,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,087	20,731
機械装置及び運搬具(純額)	2,187	2,090
土地	5,823	5,778
リース資産(純額)	725	717
建設仮勘定	72	72
その他(純額)	302	281
有形固定資産合計	30,198	29,672
無形固定資産		
のれん	84	77
借地権	2,101	2,101
その他	344	336
無形固定資産合計	2,530	2,515
投資その他の資産		
投資有価証券	7,062	6,944
長期貸付金	505	683
差入保証金	301	302
繰延税金資産	171	176
退職給付に係る資産	528	533
その他	914	907
貸倒引当金	△917	△903
投資その他の資産合計	8,567	8,644
固定資産合計	41,296	40,833
資産合計	66,320	65,404

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,813	8,521
短期借入金	4,940	4,600
1年内返済予定の長期借入金	1,132	1,279
未払金	149	130
未払法人税等	264	193
賞与引当金	225	111
役員賞与引当金	14	-
その他	2,129	2,214
流動負債合計	17,669	17,050
固定負債		
長期借入金	19,613	19,183
長期末払金	220	187
繰延税金負債	1,117	1,165
役員退職慰労引当金	13	11
退職給付に係る負債	1,636	1,607
その他	1,201	1,196
固定負債合計	23,802	23,352
負債合計	41,471	40,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,995	2,995
資本剰余金	1,348	1,348
利益剰余金	15,758	15,754
自己株式	△695	△695
株主資本合計	19,407	19,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,792	1,961
退職給付に係る調整累計額	△51	△47
その他の包括利益累計額合計	1,741	1,914
非支配株主持分	3,700	3,684
純資産合計	24,848	25,002
負債純資産合計	66,320	65,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	47,204	40,313
売上原価	44,469	37,655
売上総利益	2,734	2,657
販売費及び一般管理費	2,458	2,460
営業利益	276	197
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	100	104
持分法による投資利益	11	—
その他	30	49
営業外収益合計	145	155
営業外費用		
支払利息	46	46
持分法による投資損失	—	2
その他	4	1
営業外費用合計	50	50
経常利益	370	302
特別利益		
固定資産売却益	—	210
特別利益合計	—	210
特別損失		
投資有価証券売却損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	370	505
法人税等	150	200
四半期純利益	219	305
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	178	235

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	219	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△657	164
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	△655	168
四半期包括利益	△435	473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△476	408
非支配株主に係る四半期包括利益	40	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,335	1,656	124	88	47,204	—	47,204
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	73	45	77	199	△199	—
計	45,338	1,729	169	166	47,404	△199	47,204
セグメント利益	80	79	111	5	276	△0	276

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,390	1,683	136	103	40,313	—	40,313
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	68	43	83	197	△197	—
計	38,392	1,752	180	186	40,511	△197	40,313
セグメント利益又は損失 (△)	△73	134	123	13	198	△0	197

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。